

自家用有償旅客運送の枠組みで物流事業者の配送車両を活用した貨客混載実証

応募様式A

かみしほろヒト・モノMaaSプロジェクト
～かみしほろ「交通」×「郵便・物流」共創プラットフォーム～

事業の基礎情報

実施主体	上士幌町
事業実施地域	上士幌町内（市街地・農村部間）
共創の類型	官民共創／他分野共創
他分野共創の類型	宅配・物流
共創パートナー	日本郵便株式会社（上士幌郵便局）（宅配・物流）株式会社十勝情報システム（IT・システム）
運行形態	自家用有償旅客運送（交通空白）による、予約制の区域運行（オンデマンド交通）
運行主体	上士幌町（運行委託先：株式会社日本郵便（上士幌郵便局）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

上士幌町では、「高齢者・免許返納者をはじめ、町民全員が安心して暮らし続けられる公共交通網の構築」を地域公共交通計画の課題のひとつとして位置づけ、評価指標でも免許返納者数をモニタリングしている。本事業では、自家用有償旅客運送の枠組みで民間の株式会社である郵便局及び物流事業者への運行委託により、域内配送車両を活用した貨客混載実証を行い、全国に先駆けたモデルケースを構築する。これにより、上士幌での地域課題を解決するとともに、過疎地における移動課題の解決に資する全国に横展開可能なモデルを構築することを目的とする。

（事業の概要）

本事業では、上士幌町を運行主体とした自家用有償旅客運送（交通空白）の枠組みにより、民間の株式会社である上士幌郵便局に運行委託して実施する「事業① 郵便局の車両・人員を活用した貨客混載による自家用有償実証を官民協働により実施する。物流事業者は利用者より直接配車予約を受け付け、上士幌町内の市街地・農村部間を予約制のオンデマンド交通として区域運行を行う。

自家用有償旅客運送の枠組みで物流事業者の配送車両を活用した貨客混載実証

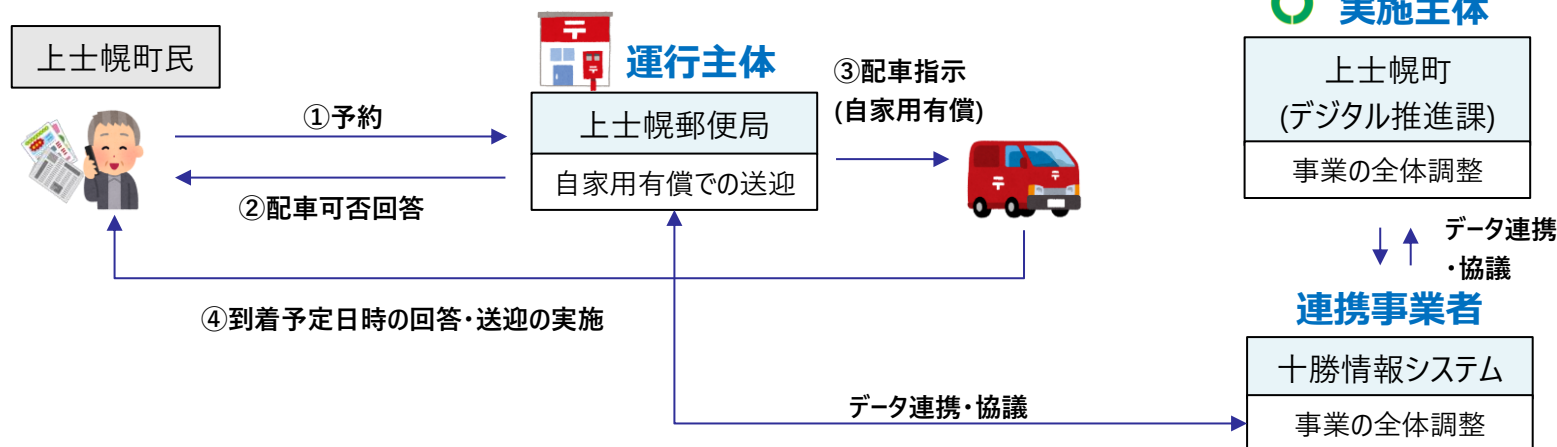
応募様式A

かみしほろヒト・モノMaaSプロジェクト

～かみしほろ「交通」×「郵便・物流」共創プラットフォーム～

事業の全体像・共創の仕組み

事業① 郵便局の車両・人員を活用した貨客混載による自家用有償実証



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

- 上士幌町（実施主体）：自家用有償旅客運送の申請主体であるとともに、実証事業実施へ向けた関係者間協議の場の設定や関係者間協議・事業推進の主導的立場を担う。地域内のリソース総動員による効率化の取組の一環として本事業を位置付け。
- 上士幌町郵便局：自家用有償の委託運行事業者として、郵便車両の空席を利用した貨客混載での有償旅客輸送を行う。
- 十勝情報システム：まちのデータ連携基盤の企画・運用事業者として、モビリティデータの連携方法のあり方の検討・推進を主導する。

(実証事業により見込まれる効果)

本事業の実装は上士幌での移動課題の直接的な解決に寄与するとともに、全国の過疎地における移動課題の解決に資する横展開モデルを提示することができる。また、間接的な効果として、自宅にこもりがちな免許返納済高齢者のサークル活動や買い物などの外出機会の創出につなげることで住民のウェルビーイングの向上やフレイル予防への寄与、及び、中長期的には医療費削減効果等も期待できる。

自家用有償旅客運送の枠組みで物流事業者の配送車両を活用した貨客混載実証

応募様式A

かみしほろヒト・モノMaaSプロジェクト

～かみしほろ「交通」×「郵便・物流」共創プラットフォーム～

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

タスク・スケジュール (案)

月

2024

2025

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

★事務局定例は週次で開催

Task1：補助金交付申請

Task2：自家用有償事業の地域関係者間協議

1) 運行形態の協議 (区域運行)

2) 旅客の範囲の決定 (交通空白輸送)

3) 使用する自動車の確保・手続きの実施

4) 運行管理の体制構築 (運行管理責任者の選任)

5) 運転者の確保 (運転者選任と講習受講)

6) 旅客から収受する対価 (運賃) の設定

7) 地域公共交通会議における協議

Task3：道路運送法に基づく自家用有償旅客運送の登録

1) 申請書類の作成

2) 帯広運輸支局への相談・申請・書類提出

3) 登録証の受領

Task4：運行の準備～実施

1) チラシ・ポスターなどの周知用制作物の作成

2) 想定利用者への事前周知

3) 運行委託事業者における運行前準備・研修等

4) 実証運行①郵便局車両による貨客混載

5) 利用者へのアンケート/ヒアリングの実施・データの収集

Task5：報告書作成～次年度アクションプラン検討

1) アンケート結果や収集データの分析・取り纏め

2) 関係者間との事業化に向けた協議

3) 報告書のとりまとめ・提出

Task1・2：役場を中心に上士幌郵便局・ネクストデリバリー社と協議し、地域公共交通会議に諮る

Task3：役場が主体となって申請

Task4：1～2、6は役場が主体となって実施、4～5の運行に関する内容は上士幌郵便局及びネクストデリバリー社が実施

Task5：役場を中心に上士幌郵便局・ネクストデリバリー社と協議

10月～12月中頃の2か月半を想定

(補助事業実施後の予定)

本事業後には実証結果を踏まえて、上士幌郵便局、及び、ネクストデリバリー社と運行の継続・事業化に向けた協議を実施する。協議の具体的な内容としては、事業実装可否や、実装を行う場合には運賃や運行ルート等の運行の詳細についての協議を想定。